

第 1 学年 特別の教科 道徳 学習指導案

第 1 学年 3 組

- 1 主題名 がんばって はたらく C 勤労、公共の精神
 2 教材名 「きゅうしょくとうばん」 (出典：光村図書「どうとく」)
 3 本時

(1) ねらい

給食当番の仕事に取り組む「ぼく」の一生懸命な姿などを通して、みんなのために働くことのよさについて考えさせ、みんなのために役立とうとする心情を育てる。

(2) 展開

	主な学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ☆評価
導 入	(1) 普段のクラスでの仕事や、家庭で行っているお手伝いを想起する。 ○クラスの当番など、自分の仕事をがんばってしていますか。 ・給食当番では、みんなのために同じようによそえるようにがんばっています。 ・日直のときは、みんなに聞こえるように大きな声でがんばっています。	○想起することで、本時のテーマへ意識を向けさせる。
展 開 前 段	(2) 「ぼく」の立場から、仕事の難しさや大変さを考える。 ①「ぼく」のところで、みんなが待っているとき、「ぼく」は、どんな気持ちだったでしょう。 ・ドキドキしている。 ・みんなが待っている。早くよそわなくちゃ。 ・難しいけれど、がんばるぞ。 ②先生やみかさんが褒めてくれたとき、「ぼく」は、どんな気持ちだったでしょう。 ・みんなが喜んでくれて嬉しい。 ・他のおかずもよそってみたいな。 ・もっとみんなのために働いて笑顔にしたい。	○「ぼく」が仕事に難しさを感じながらも、一生懸命務めようとしている点も押さえる。 ○責任をもって自分の役割を果たすことができた「ぼく」の気持ちを考えることで、みんなのために働くことのよさを感じ取らせる。
展 開 後 段	㊦あなたが、みんなのためにがんばってよかったと思ったのは、どんなことですか。 ・そうじをして、教室をきれいにした。 ・かぞくにここに大作戦をしたときに、お家の人が喜んでくれた。	○自分自身を振り返り、進んでみんなのために働いたときのよさを考えさせる。 ☆みんなのためにがんばった経験や、そのときの気持ちについて、自分を見つめている。
終 末	(3) 主事さんが働いている様子やインタビューに答えてくれた内容を動画で見て、誰かのために働くことの価値について視野を広める。	○学校で働く主事さんの気持ちを知ること、考えを広げたり深めたりする。